

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年2月10日

提出区分	実績	整理番号	17	課題区分	C		
横断的な課題	With/Afterコロナ時代においても選ばれる持続可能な山岳観光地域づくりの推進						
地域重点政策	1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興						北アルプス地域振興局
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	農地整備課	
事業名	スマート農業実証実験事業				電話	0261-23-6514	
					E-mail	kitachi-nochi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	近年、農業者の減少・高齢化が進行する一方で、担い手農家の経営規模は拡大傾向にあることから、労働者不足の解消を目的としてICT等を活用したスマート農業の導入が求められており、新たな製品の実証実験を行うことで、導入促進を図る。					
	現状と課題	当地域では、水稻を中心とした農業経営が行われているが、農業者の高齢化等による経営規模の縮小やリタイアが進んでいるため、担い手の育成・確保及び担い手への農地集積を進めている。また、水稻栽培において、農業経営規模の拡大を進め効率的な生産を行うには、水管理の省力化が重要となっている。しかし、ICT等を活用した水管理システムの導入によるスマート農業の推進のためには、機材の価格や実用化に向けた不安の解消が普及に向けた課題となっている。					
	内容 (変更後の内容)	【事業内容】 ○管内のほ場整備事業実施地区(池田町、白馬村)において、ICTを活用した水管理システムを導入し、スマート農業の実証実験を行う。 【対象機器】 ○水田水管理システム「farmo」の設置。 ※ 栃木県のベンチャー企業「株式会社Farmo」の製品で、既に全国において、導入実績がある。 【設置後の検証】 ○設置後は、農業農村支援センターと連携し、機器の効果についての検証を実施。					
	事業期間	令和4年5月 ～ 令和5年2月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等		実施内容	計画(実績)額	備考		
	スマート農業実証実験事業		ICTを活用した水管理システムの導入	243,760			
	合 計			243,760			
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	システム導入により水管理作業が省力化されるほ場数			4ほ場	4ほ場	● 達成	
	ほ場整備地区(実施中2地区、計画1地区)において、水稻の栽培を行う担い手農家(法人等組織を含む)へのICT等を活用した水管理システムの概要及び実証実験結果の周知			15者	23者	○ 一部達成	
						○ 未達成	
事業実績・成果	(事業実績) ・ほ場整備を計画している地区において、担い手農家に対して、ICTを活用した水管理システムを展示し、構成や仕様等の説明を実施。 ・管内のほ場整備事業実施地区(池田町、白馬村)において、ICTを活用した水管理システム(自動給水栓)を設置し、担い手農家が同システムの効用について確認。また、設置した現地において、希望する担い手農家に対して、現地見学会を実施。 ・遠隔で操作・監視が可能で、操作性も簡易であることから、水管理に対する管理の省力化について期待できるとの評価を得た。						
今後の方向性	本事業で周知等を行った結果、令和5年度は、新たに、ほ場整備事業の新規予定地区(松川村)及び工事のための詳細設計を進めている地区(大町市)において、担い手農家から使用してみたいとの申し出があり、各2ほ場で自動給水栓による水管理省力化について実証を行う予定。さらに、担い手農家との交流の場を活用して、事例紹介することにより、更なる普及を進める。						